

地域包括ケア「見える化」システムを活用した 磐田市介護保険事業の地域分析（令和3年度）

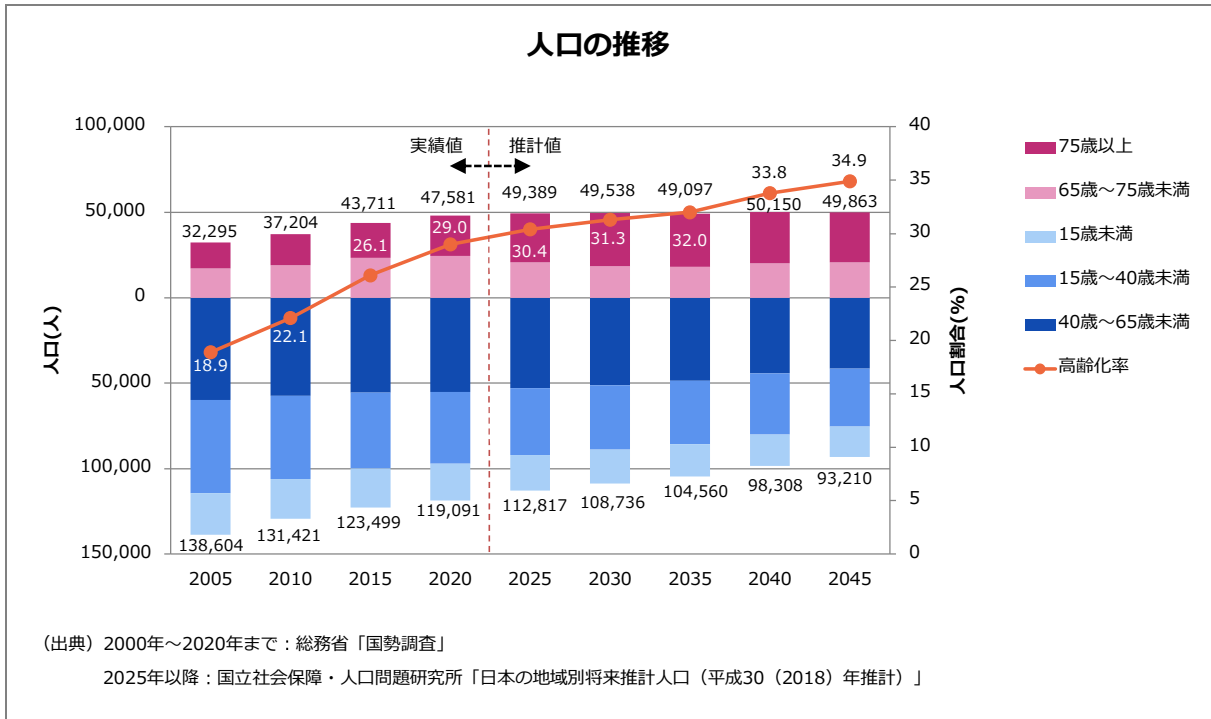
地域包括ケア「見える化」システムについて

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。システムを活用し、本市と全国・県・近隣市町を比較・分析し、本市事業の見える化を図ります。

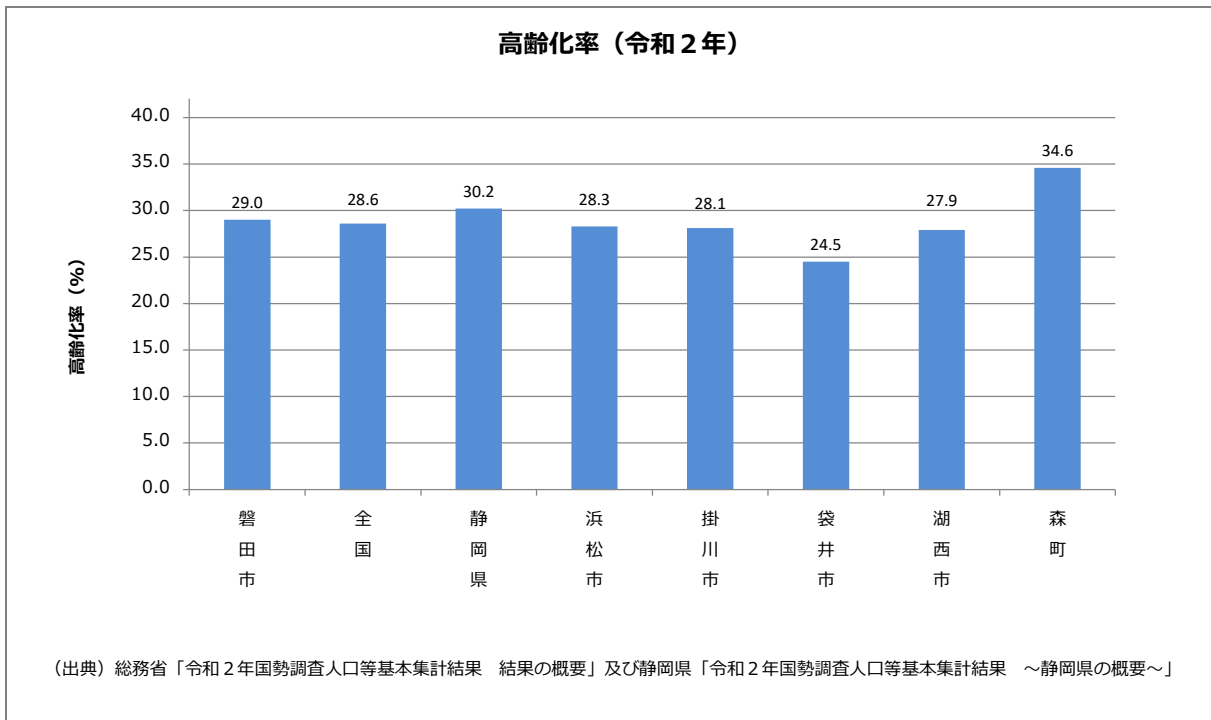
目 次

1. 人口及び高齢化率の推移
 - ・人口の推移
 - ・高齢化率
2. 要介護・要支援認定者数、認定率の推移
 - ・要支援・要介護認定者数の推移（要介護度別）
 - ・磐田市の要支援・要介護認定者数（要介護度別）
 - ・調整済み認定率（要介護度別）
 - ・調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布
3. 費用額の推移
 - ・介護費用額の推移
 - ・第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）
 - ・第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）
4. 保険料額の推移
 - ・保険料額の推移
 - ・第1号被保険者1人あたり保険料月額

1. 人口の推移

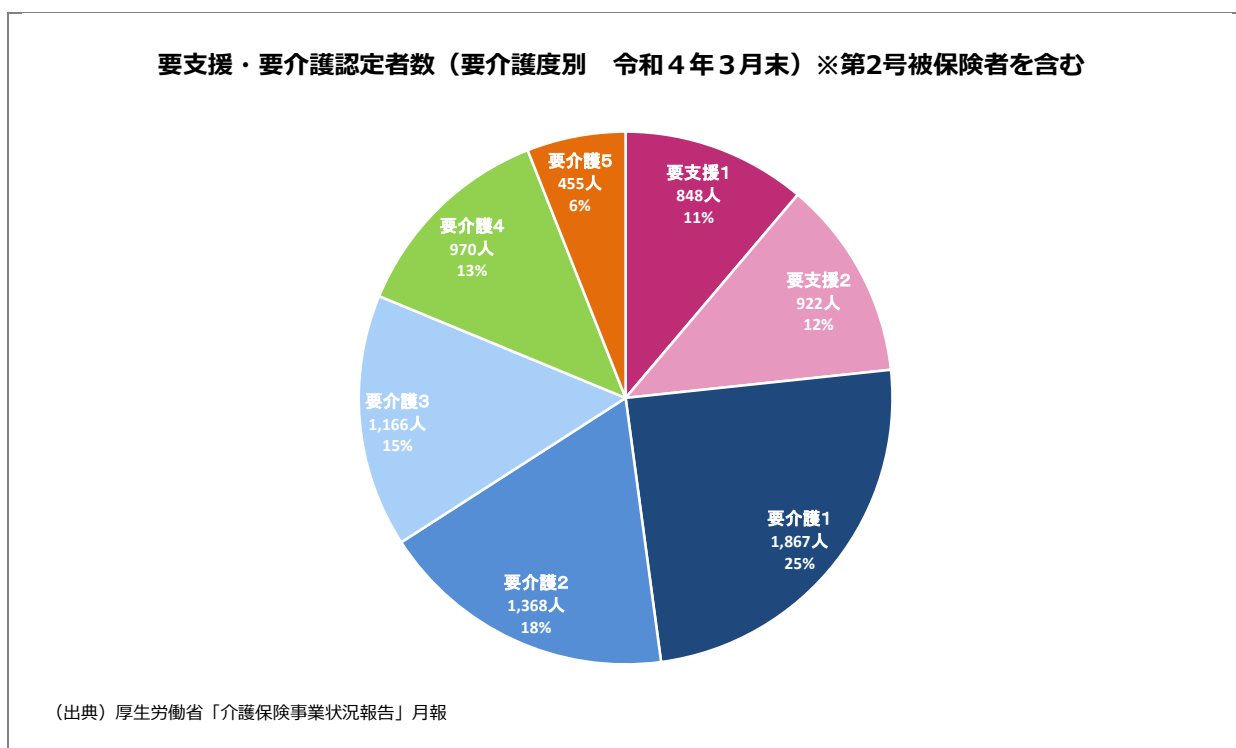
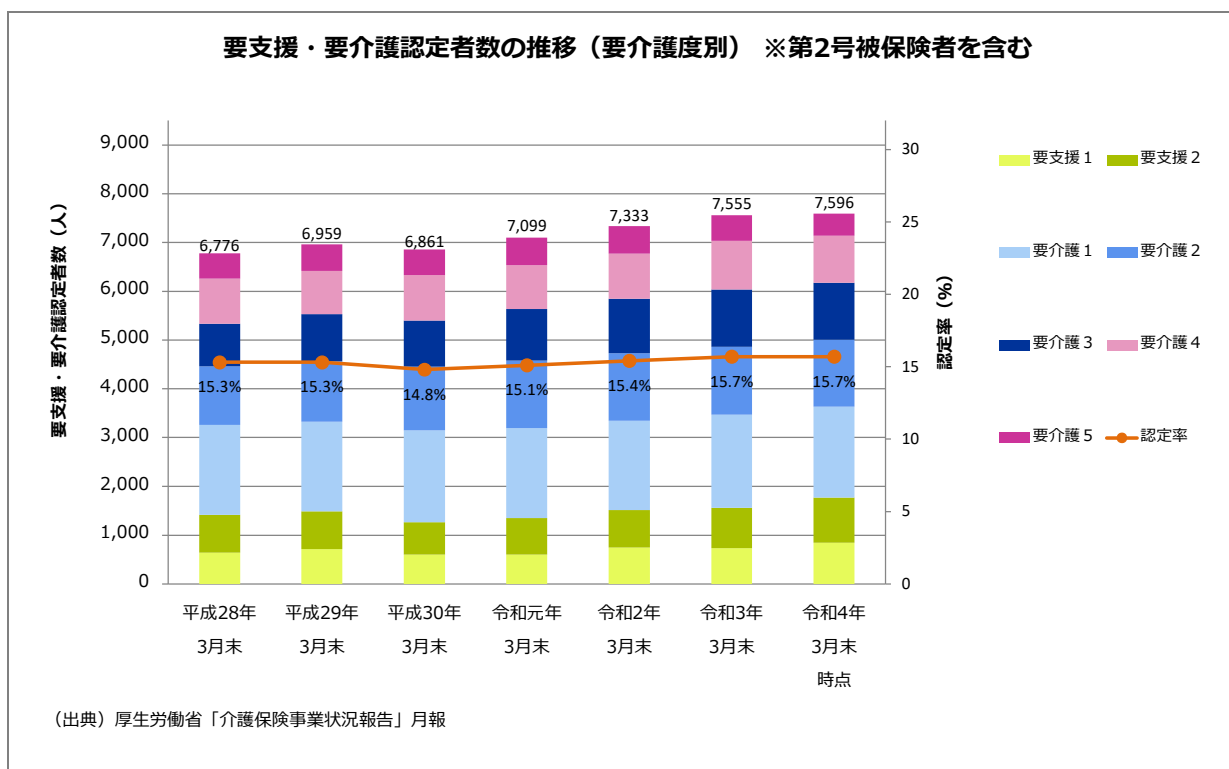


本市の人口は、2008年頃をピークに減少するとともに、高齢化率及び高齢者人口は増加し続けており、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」によると、2045年には、人口143,073人（2020年対比：△23,599人）、高齢者人口49,863人（2020年対比：+2,282人）、高齢化率34.9%（2020年対比：+5.9ポイント）となる見込みです。

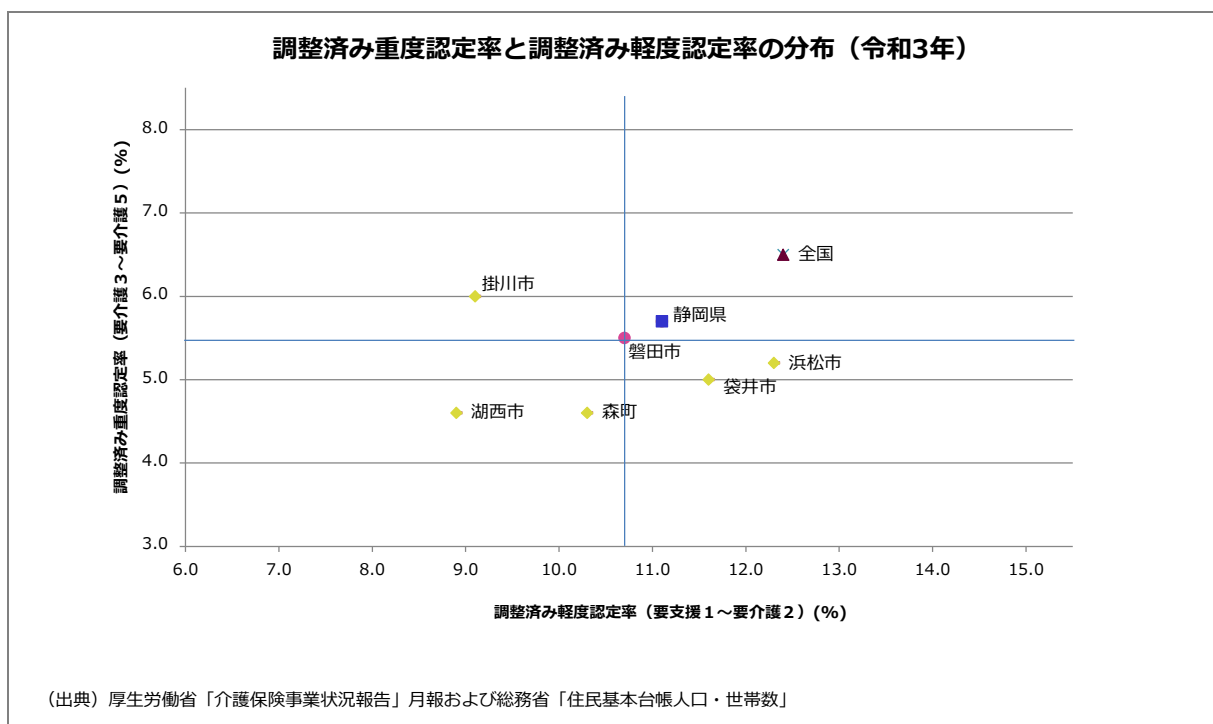
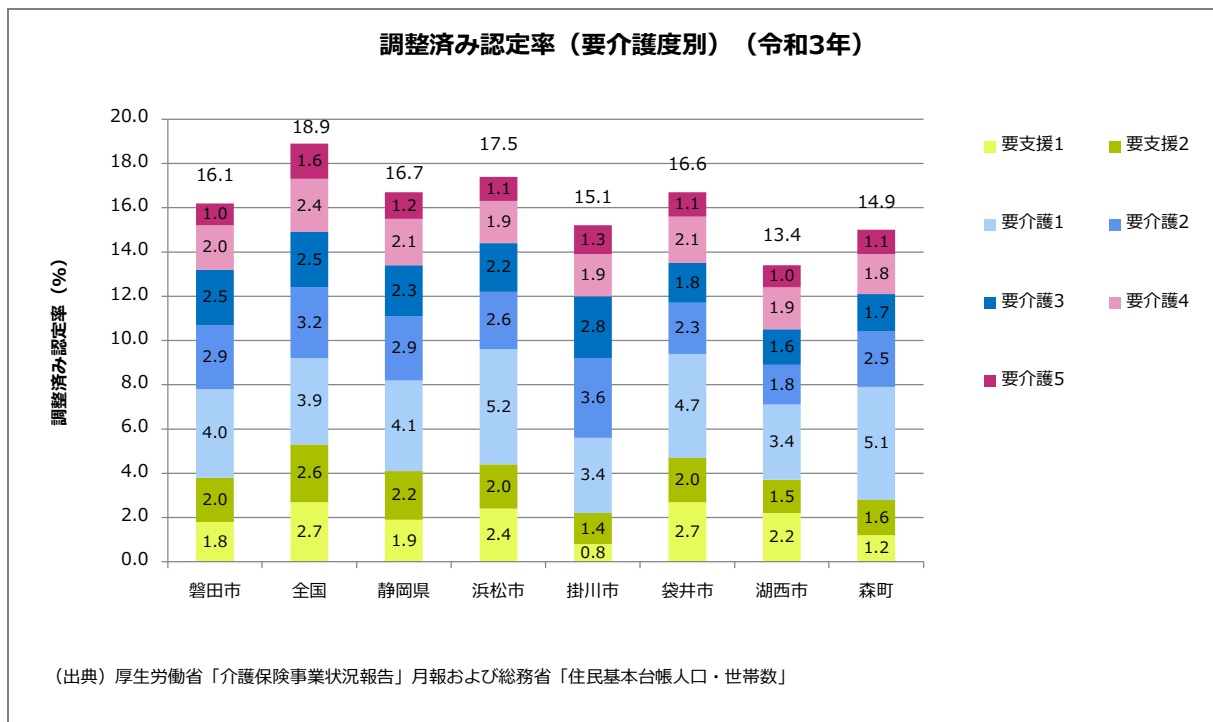


高齢化率は29.0%で、静岡県の高齢化率30.2%を下回るものの、全国及び周辺市を上回っています。

2. 要介護・要支援認定者数、認定率の推移



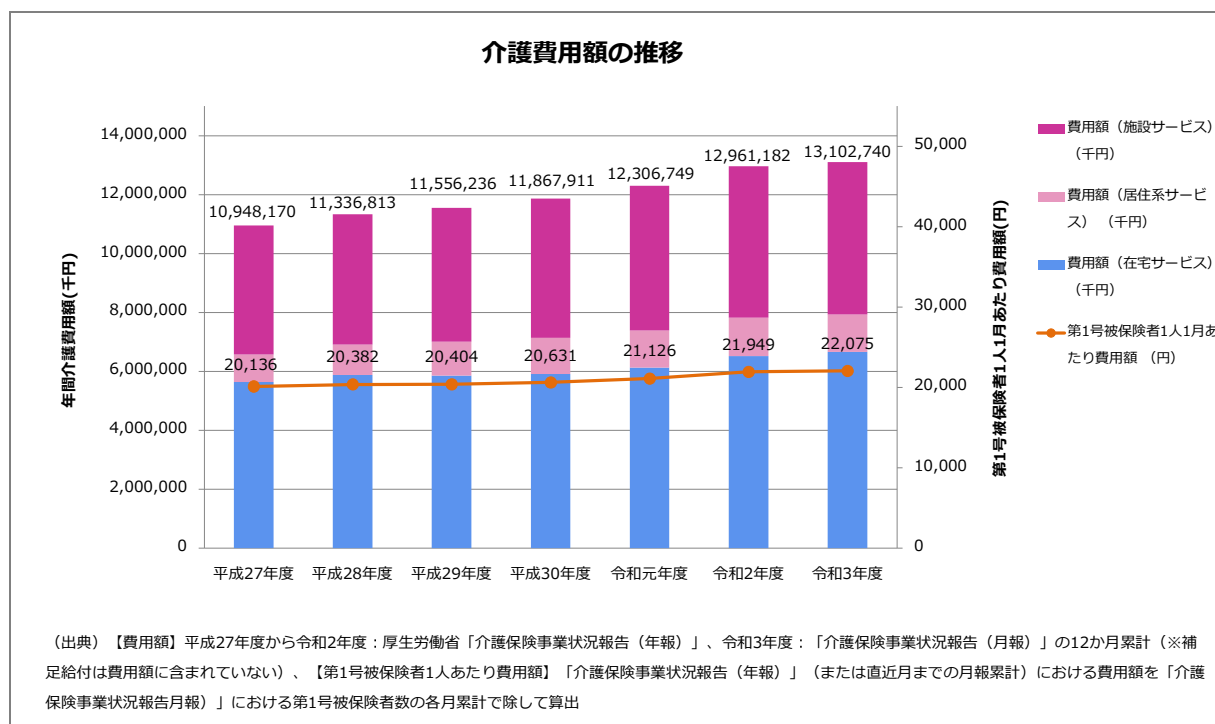
認定率は年々上昇する傾向にあります。介護度別では、要支援及び要介護2・3の占める割合が大きくなる一方で、要介護1・4・5の占める割合が減少しています。



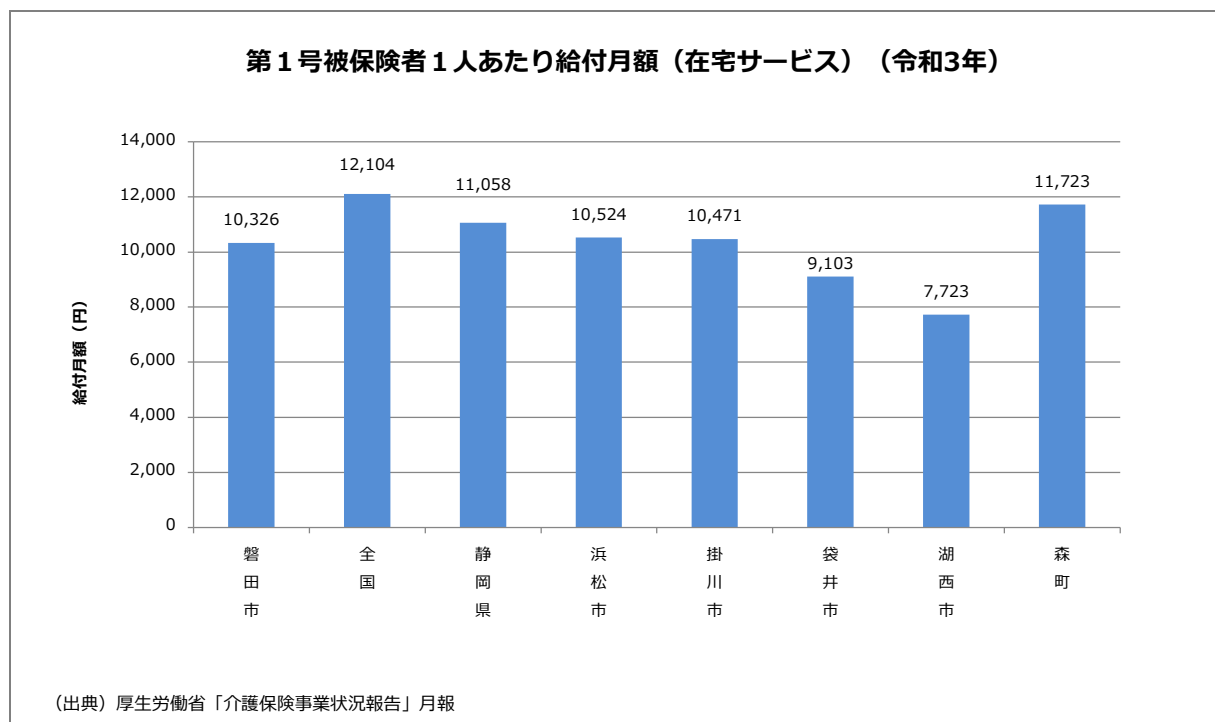
調整済み認定率は16.1%となっており、全国及び静岡県よりも低い率となっています。介護度別では、重度及び軽度認定率ともに全国・静岡県よりも低い率となっていますが、周辺市町と比較すると、軽度認定率は中位ですが重度認定率は若干高い率となっています。

※調整済み認定率：認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢別人口構成」が、どの地域も同じになるように調整することで、地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

3. 費用額の推移

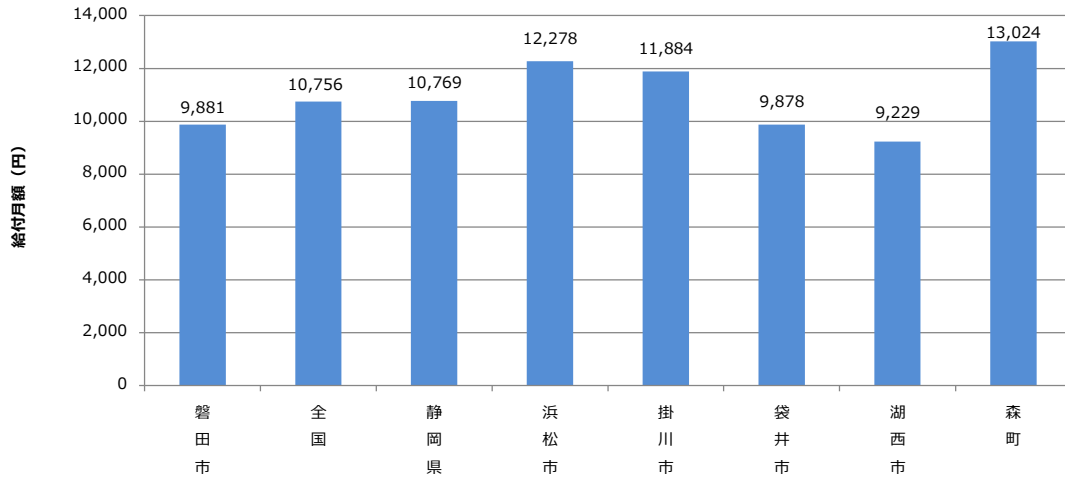


介護費用額は年々上昇傾向にあり、令和3年度の介護費用額は13,102,740千円、平成27年度対比で2,154,570千円(19.7%)増、第1号被保険者1人あたりの費用額は22,075円で1,939円(9.6%)増となっています。



サービス別1人あたり給付月額(在宅サービス)は10,326円で、全国及び静岡県よりも低い額ですが、周辺市町と比較すると高い傾向にあります。

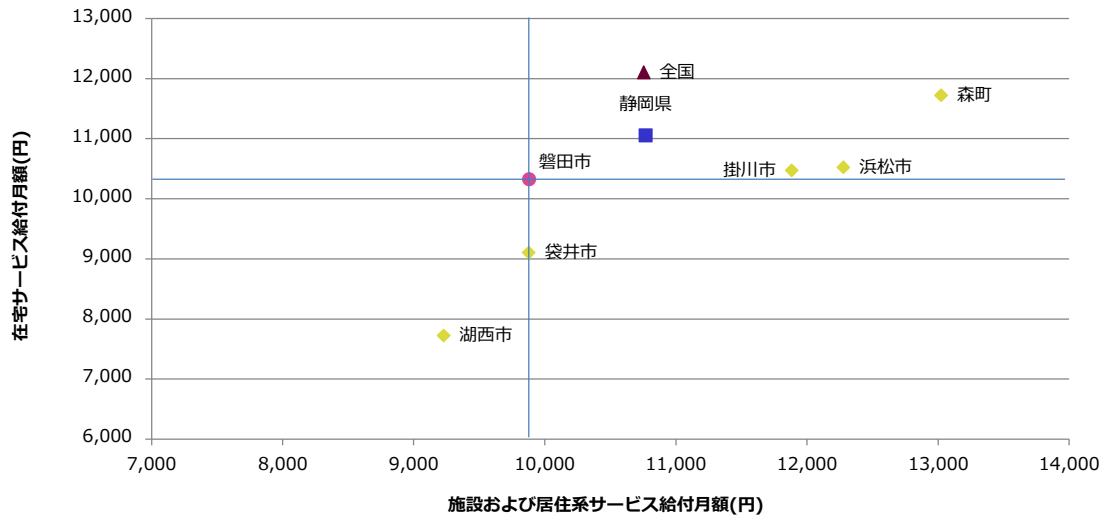
第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）（令和3年）



(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

サービス別1人あたり給付月額（施設及び居住系サービス）は9,881円で、全国及び静岡県よりも低く、周辺市町と比較しても低い傾向にあります。

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）（令和3年）

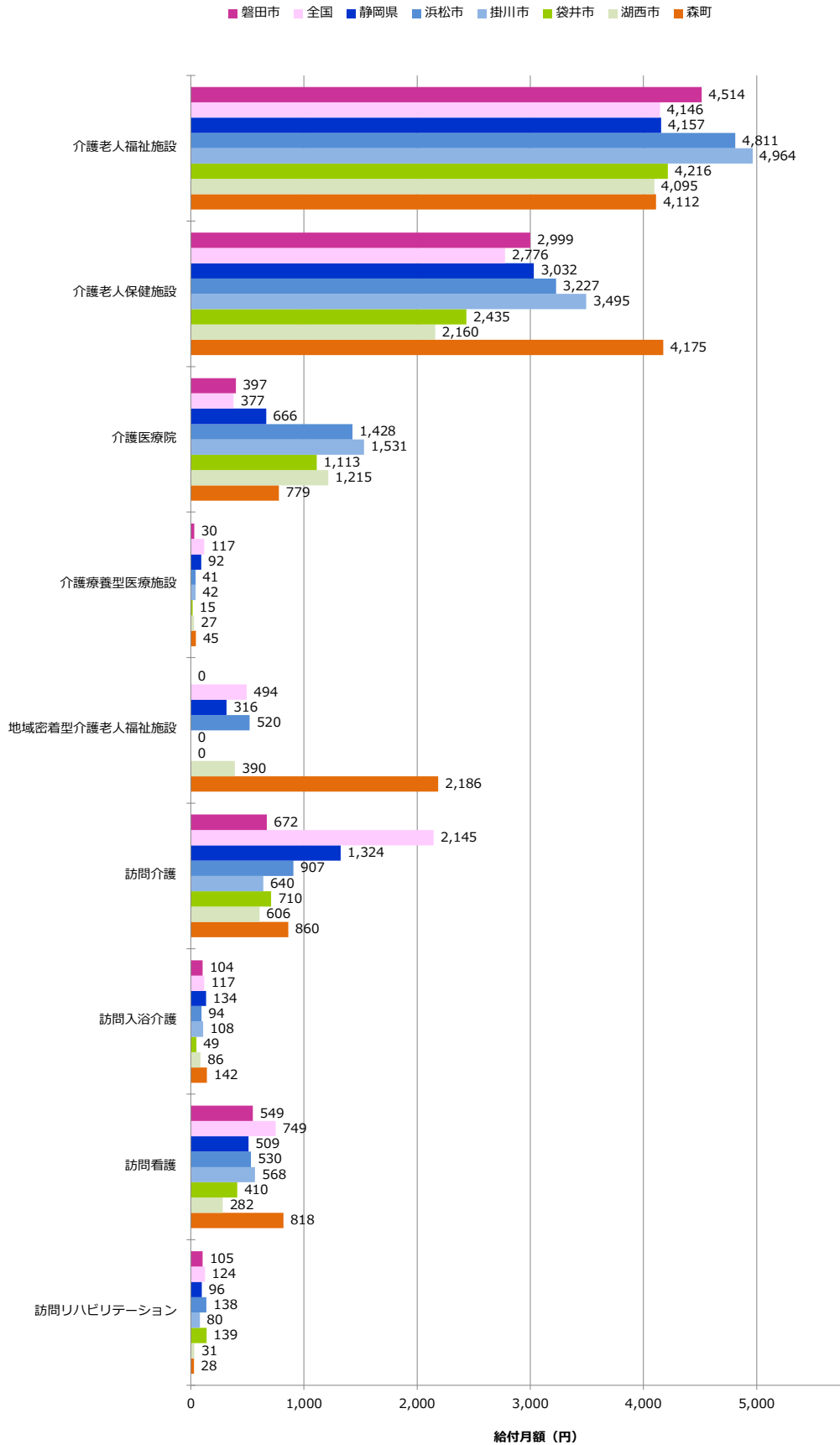


(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

サービス系列別に1人あたり給付月額をまとめると上記のようになります。

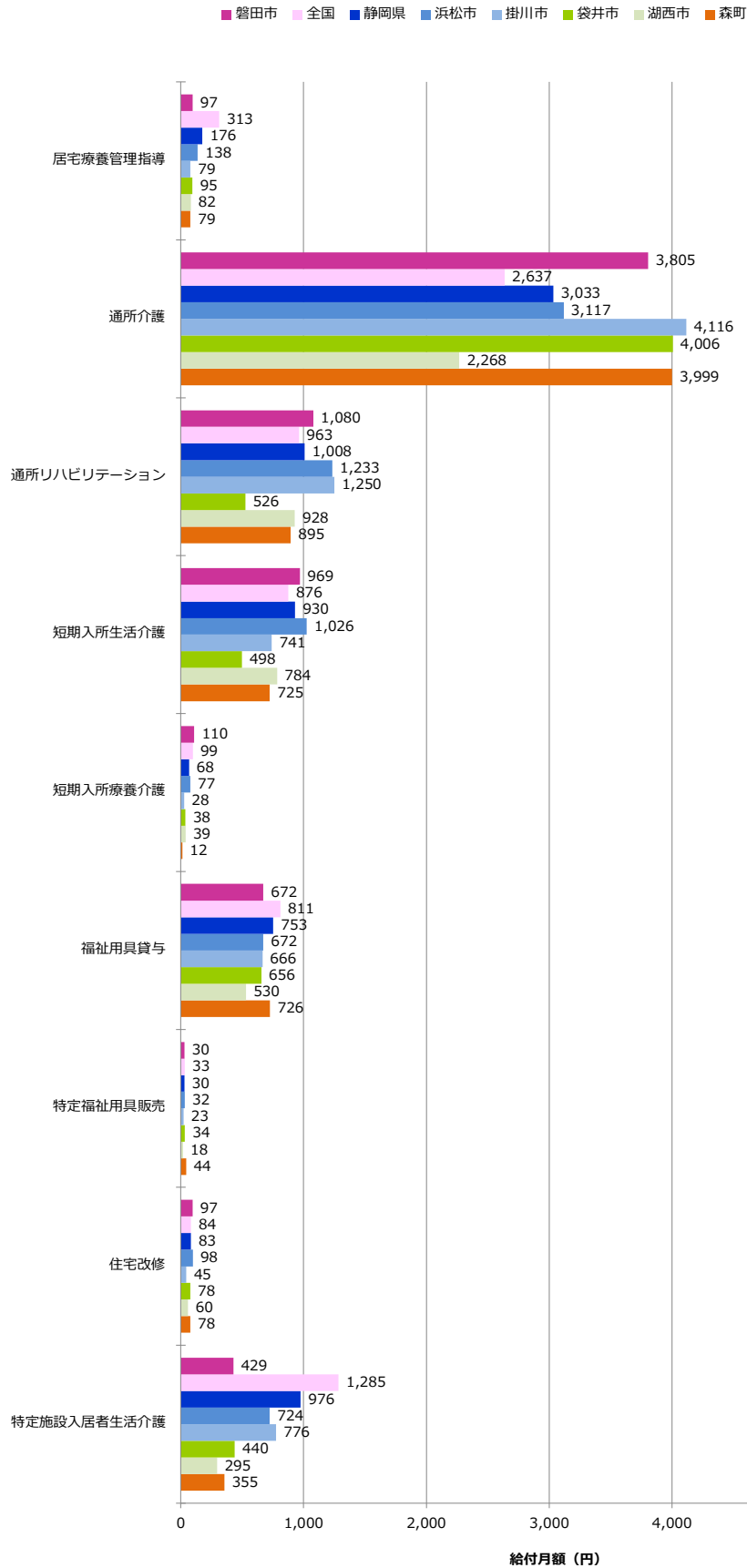
サービス種類別の詳細は次のとおりです。

第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種別）（令和3年）



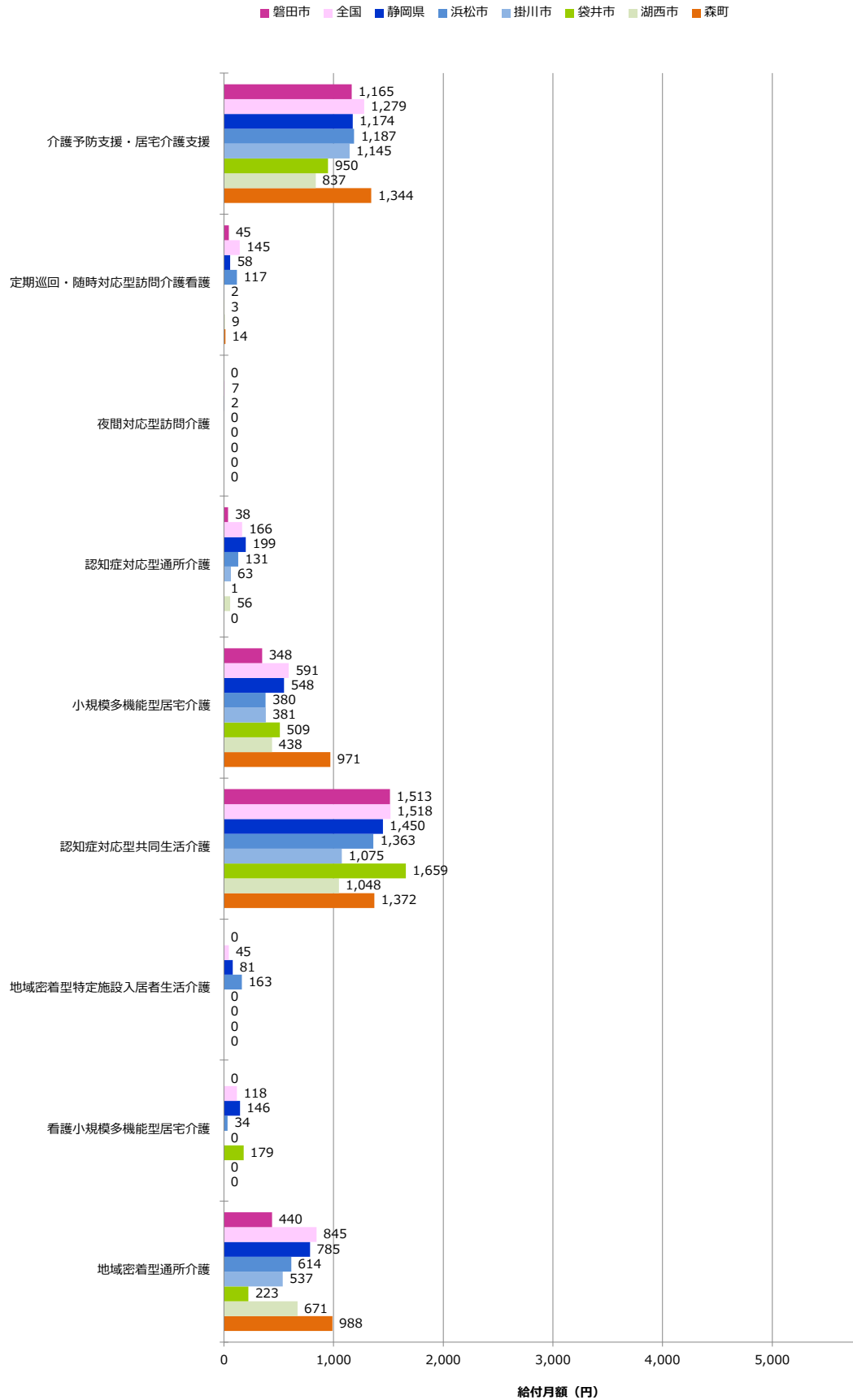
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種別）（令和3年）



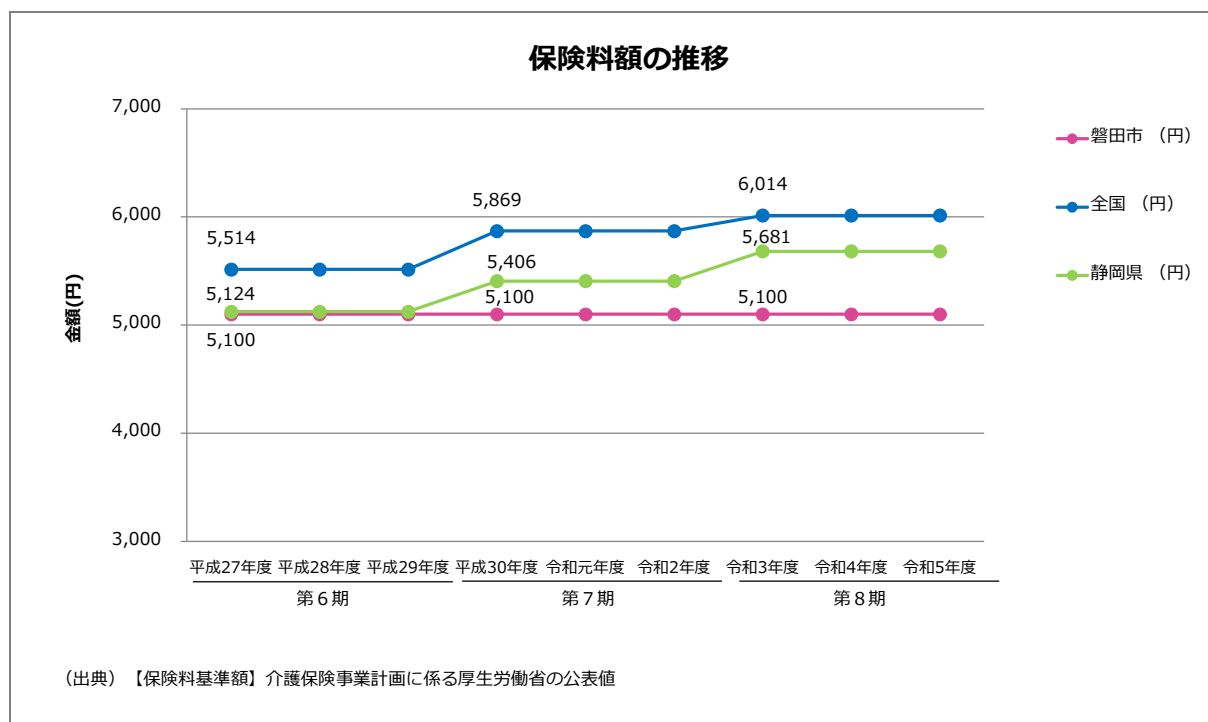
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス種類別）（令和3年）

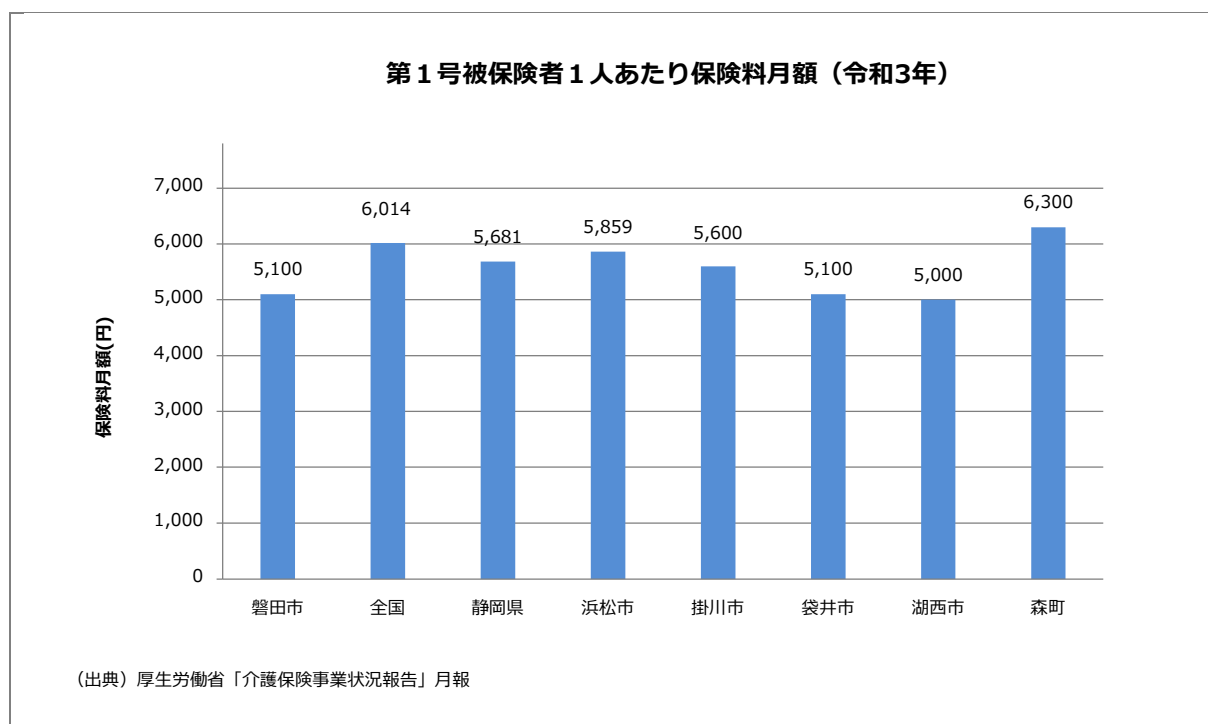


（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

4. 保険料額の推移



全国・静岡県の保険料額は計画期ごとに上昇する傾向ですが、本市は第6期以降の変更はなく、第8期では全国・静岡県よりも低く、乖離が広がっている状況です。



保険料額は全国・静岡県よりも低く、周辺市町と比較しても低い水準にあります。

5. まとめ

本市の高齢化率は、静岡県全体と比べ低い状況ですが、全国及び周辺自治体との比較では若干高い状況にあり、認定率も年々上昇する傾向です。介護費用額も同様に増加傾向ですが、第1号被保険者1人あたり給付月額、全国、静岡県及び周辺自治体と比べ低く、保険料額は、第6期介護保険事業計画（平成27年度）以降変更していません。

今後、高齢者数の増加が続く中、介護サービスに対する需要はさらに高まり、介護給付費の増加が続くことが想定されます。また、1人あたり介護給付費の増加は、保険料額の上昇につながります。高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、第8期介護保険事業計画に基づき、「生きがいつくりと介護予防の充実」、「住み慣れた地域で暮らすための支援の充実」、「認知症施策の推進」、「高齢者支援サービスの充実」に力を入れていくことがますます重要になっています。